

工大一、八学野西、光星 準決勝へ



【3回戦・八学野西―三農恵拓】前半40分、八学野西は成田涼雅(中央)が左足で決め、2―0とする。十和田市若葉球技場

全国高校サッカー

青森県大会2次予選

第102回全国高校サッカー選手権青森県大会2次予選第3日は28日、十和田市若葉球技場などで3回戦3試合を行った。工大一、八学野西、八学光星の3チームが勝ち上がり、

スーパーシードの青森山田と合わせ、4強は県高校総体と同じ顔触れとなった。第4日の11月3日は、八戸市プライフーズスタジアムで、青森山田―工大一(10・30)、八学野西―八学光星(13・30)の準決勝2試合が行われる。

(桑田友人)

成田ハットトリック

八学野西

○：八学野西はFW成田涼雅がハットトリックを達成。十和田市開催のホームアドバンテージがあった三農恵拓に見せ、チームを準決勝へ導いた。

序盤は「相手の方が気持ちが入っていた」(高木和主将)。球際で三農恵拓が上回るシーンが目立った。だが前半15分、成田がロングボールのこぼれ球を拾い、GKとの1対1から冷静にシュートを決めて先制。40分にもクロスを頭で落としから素早く左足を振り抜き、リードを広げた。

「調子が良かった」と成田。1点を返された後半19分には、右サイドで躍動したDF池田汐風が敵陣深くまで切り込むと、FW堀田一希がニアポストに走り込んで生まれたスペースにパス。待ち受けた成田が右足で決めて試合を決定付けた。

次戦は系列校の八学光星。今年は1勝2敗と分の悪い相手だが、成田は「前の試合で決められなかった分、自分のゴールで必ず勝ちたい」と意気込んだ。

▽3回戦
工大一 2-1-1 八戸西
0-0
八学野西 4-2-0-1 三農恵拓
2-1
八学光星 5-2-0-0 弘前実
3-0